

問題 以下の文章を読み、かっこ内に適語を入れなさい。

キリスト教にはカトリックとプロテスタントという 2 大宗派があるが、南欧で普及しているのは ( a )、北欧で普及しているのは ( b ) である。両者の違いは、政治、法、生活習慣などの様々な点に見いだされる。その例として、離婚、同性婚、人工妊娠中絶を認めるかといった問題が挙げられるが、( a ) はこれらを認めないのに対し、( b ) では認めている。なお、今日、すべてのヨーロッパ諸国は離婚を認めているが<sup>1</sup>、地中海に浮かぶカトリック国のマルタは、近年にいたるまで、離婚を認めていなかった。これに北欧のスウェーデンが強く抗議したため、EU 内で激しい争いが発生した。

前掲の宗派の内、より古くから存在し、ローマに拠点を置くのは ( a ) である。その首長である ( c ) の権威は絶大であり、最初のヨーロッパ人と呼ばれる ( d ) 王国の ( e ) は、800 年、同首長から西ローマ皇帝の冠を授かった。

プロテスタントとは「反抗」「抵抗」という意であり、権威主義や金権主義に陥っていたローマ・カトリック教会を批判する形で生まれた。約 500 年前の ( f ) 年に宗教改革を起こし、プロテスタント運動を行ったのは ( g ) である。

同性婚も、現在は、ほとんどのヨーロッパ諸国で容認されているが、それを世界で最初に認めたのはプロテスタント国のオランダである。近年、カトリック教国のスペインが、社会党政権下で同性婚を認めたことは大きな注目を集めたが、同じくカトリック教国である ( h ) は、まだ同性婚を認めていない (同性間のパートナーシップのみ認める)。なお、同性婚に関しては、カトリックとプロテスタントといった「南北」格差ではなく、東ヨーロッパと西ヨーロッパという「東西」格差の方が顕著である。つまり、西ヨーロッパ諸国のほとんどは認めているのに対し (その例外が前掲の h である)、東ヨーロッパ諸国 (特に、ロシアやポーランド) は認めていない。

( i ) は地理的には南欧にあたらぬものの、( a ) が広く信仰されており、人工妊娠中絶は憲法で禁止されていた。しかし、2018 年 5 月 25 日に行われた国民投票で、それを容認すべきとする票が 66% に達したことを受け、妊娠 12 週までであれば中絶手術を受けることが認められるようになった。なお、アイルランド島の北部は ( j ) の領土であり、その地域でも人工妊娠中絶は認められていなかったが、現在は「南」と同様に容認されている。

---

<sup>1</sup> なお、今日、ヨーロッパのカトリック教徒は法的には離婚できても、宗教的には離婚できない。